

施設概要

(令和2年4月1日現在)

施設名 桜台公民館 (桜台センター内)		開館時間 公民館業務 午前9時～午後9時 児童館業務 午前9時～午後5時 (第1～第4金曜午後7時まで：中学生以上18歳未満の居場所) 図書館業務 午前9時(閲覧) 9時半(貸出)～午後5時 出張所業務 午前8時30分～午後5時15分 (開庁日：水・金・日 午後1時～2時)		
所在地	〒270-1412 白井市桜台2-14	併設施設	児童館・図書室・出張所 桜台地区社会福祉協議会	
TEL	047-491-7111	FAX	047-404-7555	
メール	sakuradai@shiroi-com10.com			
休館日	月曜日・祝日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	22台(内1台障害者専用)	
職員構成 30年4月現在	センター長1名 副センター長1名 事務職1名 (非)事務職2名 児童厚生員2名 (非)児童館職2名 司書2名 (非)図書補助1名 (非)夜間管理2名 (非)清掃1名 社会教育主事1名 合計12名(複数ライセンス保持者有り)			
貸出施設	1時間あたりの施設使用料(社会教育認定団体は2分の1)			
	施設名	定員	9:00～21:00	付帯設備
	作法室	38名	350円	座卓9台・鏡1台 囲碁・将棋盤・茶道具
	調理実習室	24名	720円	調理台4台・各種調理器具・電子レンジ・炊飯器・冷蔵庫・椅子25脚
	研修室	40名	350円	机10台・椅子30脚 (予備机・椅子あり)
	視聴覚室	40名	780円	ピアノ1台・テレビ1台 DVD1台・机10台 椅子40脚・スクリーン マイク
レクリエーション ホール	100名	970円	卓球台4台・バドミントン用ポール・各 ネット・可動舞台・音響設備・ホワイト ボード・机・椅子	
貸し出し 可能備品	館内のみ貸出 CDデッキ・延長コード・ホワイトボード用マーカー・車椅子			

平成31年度 公民館等団体別利用状況 (桜台公民館)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
	月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
4	42	939	118	1,170	0	0	3	39	36	624	11	67	210	2,839
5	39	792	114	1,203	0	0	2	38	40	710	2	4	197	2,747
6	39	773	121	1,343	0	0	2	37	48	1,416	6	22	216	3,591
7	37	790	114	1,183	0	0	3	60	64	1,206	9	61	227	3,300
8	44	759	98	1,030	1	2	1	20	24	401	9	31	177	2,243
9	36	778	115	1,199	0	0	0	0	43	852	12	109	206	2,938
10	39	872	111	1,171	0	0	2	25	47	1,379	8	72	207	3,519
11	38	768	113	1,189	0	0	1	5	40	640	8	28	200	2,630
12	38	732	112	1,175	0	0	3	32	29	850	6	55	188	2,844
1	41	860	124	1,266	0	0	3	28	28	423	4	20	200	2,597
2	38	790	112	1,136	0	0	4	37	41	948	8	49	203	2,960
3	24	440	79	746	0	0	1	1	10	147	16	148	130	1,482
合計	455	9,293	1,331	13,811	1	2	25	322	450	9,596	99	666	2,361	33,690

平成31年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
研修室	535	5,946	33.0
作法室	545	5,177	38.2
調理実習室	38	860	3.5
視聴覚室	235	2,786	16.3
レクホール	1,008	18,921	70.5
合計	2,361	33,690	

平成31年度 桜台公民館 事業報告

●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）

戦略1「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

戦略2「みどり活用プロジェクト」

- ・みどりが価値を生み出すまちづくり
- ・みどりがつながるまちづくり

戦略3「拠点創造プロジェクト」

- ・地域拠点がにぎわうまちづくり
- ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、①「つどう」②「まなぶ」③「むすぶ」④「つくる」⑤「さがす」の公民館の代表的な5つの機能を生かした事業展開を行いました。

1. 運営方針

平成31年度 桜台公民館 運営方針

（1）全体の運営方針

- ・年間テーマ【臨：のぞむ：「やってみよう」を促す】

何かをしてみたいという市民や団体の願望に寄り添い支援することにより、生涯学習社会実現を目指す。

（2）分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①保護者が家庭において行う子育てや教育について学ぶ機会や場を提供する。 ②親子の学びや育ちを地域で支援し、子育てによる閉塞感を緩和する。 ③同世代の子供を持つ親、同世代の子供達の出会いと交流の場を図る。
青少年教育 (2)	①想像力、創意工夫、生きる力をつけるための体験、活動、学習などの機会を提供する。 ②異年齢、異学区の交流の機会を提供し、社会性を養う。 ③自ら考え行動する青少年を地域で育成する。

成人教育 (3)	①さまざまな趣味や学習などを通じて、自己実現の機会を提供する。 ②適度な運動を行うことで、加齢などによる能力低下を予防する。 ③社会変化に対応するための知識を得る機会を提供する。 ④趣味などを通じた仲間づくりを支援する。
団体育成 (4)	①地域活動団体の活動場所や機会を提供する。 ②地域で何かをしたいという思いを支援する。 ③サークル活動の存続を支援する。

(3) 平成31年度 重点に実施した項目（講座・事業など）

- ・中高生対象の講座を企画し、自らが居住する地域に関心を向けるとともに次世代リーダー育成の土台をつくる第一歩とする。

2. 桜台公民館 講座等実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	参加人数
家庭教育 (1)	子育てサロン 【定期講座】 【児童館と合同】 ①②③	3回	延べ23人
	赤ちゃん広場「いちご組」 【定期講座】 【児童館と合同】 ①②③	10回	延べ43組86人
青少年教育 (2)	さくらだいクラブ ～白井探検隊～ 【児童館と合同】 ①②③	3回	12人
	学ぶkidsシリーズ 【児童館と合同】 ①②	3回	延べ42人
	さくセンこども企画部 【児童館と合同】 ①②	4回	14人
	学ぶkids「さくセン合宿～ナイトウォーク～」 【青少年相談員、児童館と合同】 ①②③	1回	28人
	なろう！ジュニアリーダー 【児童館と合同】 ①②③	3回	4人
成人教育 (3)	白井散策倶楽部 ①②④	2回	6人
	桜台キッチン春 ①④	2回	11人
	桜台キッチン秋 ①④	2回	5人

成人教育 (3)	男のオフタイム講座	①②④	2回	7人
	リフレッシュ倶楽部	①②④	3回	7人
	大人の学び講座	①③④	5回	延べ82人
	女のアフター7講座	①④	3回	延べ23人
	大人の手芸倶楽部	①④	2回	9人
	掃除講座	①④	1回	14人
団体育成 (4)	なろう！桜台地域サポーター	①②	9回	6人
	アトリエFサポート講座	③	1回	12人

(2) 講座以外に行った事業

- ・桜台センター利用者連絡会
- ・さくセンフェスタ実行委員会
- ・さくセンフェスタ臨時実行委員会
- ・地域イズム2019～フリマdeゲッツ～
- ・ちょこっとティータイム（ティーサロン）
- ・ほっとカフェ（音楽喫茶）
- ・若者の居場所づくり もっとほっとルーム（児童館共催）
- ・青少年女性センター主催白井フェミナス♥+ 協力
- ・リアル防災訓練in桜台 協力

(3) 情報の提供

- ・紙媒体：広報しろい さくセン通信 児童館だより 周知ポスター
（「さくセン通信」を桜台小中学校から児童数配布、市内各センター、行政施設等に設置、桜台小中学校区自治会に回覧）
- ・web：桜台センターのホームページ、ブログ、facebookページ

(4) 施設の提供

- ・市民に平等、公平な施設の利用促進、貸館業務の充実
- ・地域の拠点となる場所の提供

講座・学級学習プログラム

講座名	子育てサロン「フレレママパパ」(児童館共催)		
対象	市内在住の子育てをしている保護者		
募集人数	各回10人程度	参加人数	延べ 23人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに対する不安が多様化し、増え続けている ・子育てが母親だけの領分ではなくなった <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママパパだけでなく祖父母なども視野にいれた講座づくり ・様々な子育て情報を取捨選択できるよう導く 		
学習期間	令和元年 7月～ 10月	回数	3回
学習場所	視聴覚室・研修室		
予算	総額: 30,000円 ※うち参加者負担金: 1,000円×10人 決算 内訳: 講師料 25,000円 その他事業費 5,000円	総額: 19,045円 ※うち参加者負担金: 1,000円×9人 内訳: 講師料 19,045円 その他事業費	
講師	白井防災ママJUMP 3人 ワンコロの森 川添 栄さん 子連れdeベリーダンスエクササイズ Jasmine 主宰 村田 祥子さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の多様化によりママと子どもという枠を外した講座作りと言葉遊びをする ・参加者同士が交流できる雰囲気作りをする ・児童厚生員と連携をとりつつ講座をすすめる ・子連れの子どもは、年齢月齢が異なるため事故のないよう注意する 		
備考	講座・学級開設の成果(課題や目標に対して) <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中という共通点があるため、参加者同士や子ども同士が楽しく交流していた ・防災に対する意識を高めることができた ・子育てで縮こまった筋肉を伸ばすことができ良いリフレッシュとなった 		

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	7月13日	子どものいのちを守る防災 (単発) 募集 10人 参加人数 3組6人 (内、大人 3人)		もし震災がおこったら家族と子どもの安心安全の備えを学ぶ
2	8月4日	引っ張る犬の玩具製作 (単発) 募集 20人 参加人数 3組14人 (内、大人 9人)	川添さん	子どもの喜ぶ玩具を作りする
3	10月30日	子連れdeベリーダンスエクササイズ (単発) 募集 15人 参加人数 11組22人 (内、大人 11人)	村田さん	子どもと一緒に楽しく音楽にのってエクササイズを行い運動不足の解消を図る

講座・学級学習プログラム

講座名	赤ちゃん広場「いちご組」(児童館共催)	
対象	平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれの子とその保護者	
募集人数	15組30人	参加人数 延べ 人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化する家庭形態と多様化する不安や悩みがある ・身近に悩みを相談する場が少ない ・保護者がストレスを溜めてしまう <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てについての知識を提供し保護者の不安を軽減する ・保護者に子育ての楽しさを再確認してもらう 	
学習期間	令和元年5月～令和2年2月	回数 10回
学習場所	乳幼児ルーム・視聴覚室	
予算	総額：30,000円 ※うち参加者負担金：円×人 算 内訳：講師料 20,000円 その他事業費 10,000円	総額：円 ※うち参加者負担金：円×人 算 内訳：講師料 その他事業費
講師	おひるねアート講師 佐藤有紀さん/栄養士/保険師 印西西消防署 救急救命士+消防士5人/ヨガ講師金子雅予さん 児童厚生員/歯科衛生士	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・月齢が違う子とその保護者同士のコミュニケーションがとりやすい雰囲気づくり ・悩みを打ち明けやすいよう児童厚生員が保護者と臨機応変に関わる ・悩みや不安を予測し、払拭できるような講座を企画する ・保護者の自己肯定感を高めるような声かけをする 	
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てについての知識を得ることができた ・大きくなる前の不安や悩みを児童厚生員が聞くことで軽減することができた 	
備考	前半後半にわけて募集し、とりこぼしのないように努めた 前半登録22組44人(内、大人22人) / 後半登録20組40人(内、大人20人)	

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	5月16日	自己紹介をしよう ～身長・体重・手形を記録～ 参加人数 15組31人 (内、大人 15人)	児童厚生員	子どもの成長を感じ、周りとのコミュニケーションを図る
2	6月6日	子どもの今を残そう ～おひるねアート～ 参加人数 13組27人 (内、大人 13人)	佐藤さん	写す楽しさを知り、その技とコツを学ぶ
3	7月11日	子どもの月齢にあわせて学ぼう ～栄養相談～ 参加人数 11組21人 (内、大人 11人)	栄養士	栄養士が実際に調理したのを見て、離乳食について理解を深める
4	9月12日	いざというときのために ～救急救命講習(AED)～ 参加人数 12組24人 (内、大人 12人)	消防士	いざという時、慌てずに最善の対処ができる知識を得る
5	10月10日	不安を解消するために ～育児相談～ 参加人数 15組30人 (内、大人 15人)	保健師	個別相談で育児の悩みを軽減するとともに乳がんの話をし、母親が自分の身体を後回しにしないよう促す
6	11月14日	子どもと一緒にストレッツ ～子連れヨガ～ 参加人数 15組30人 (内、大人 15人)	金子さん	子どもとともにストレス解消するひとつの方法を学ぶ

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
7	12月13日	おしゃべりしよう交流しよう ～ティータタイム～ 参加人数 17組33人 (内、大人 17人) 自己負担金 100円	児童厚生員	学習のねらい 保護者同士がリラックスしながら交流し、仲間を増やし孤育てを回避する
8	1月9日	子どもの歯について学ぼう ～歯科相談～ 参加人数 11組22人 (内、大人 11人)	歯科衛生士	知識を得ることので子育ての不安を解消する
9	2月6日	手作りの玩具をつくろう ～玩具製作～ 参加人数 9組18人 (内、大人 9人)	児童厚生員	遊びの大切さや楽しさを子どもとともに感じる
10	2月26日	子どもとのびのびびりフレッシュ ～親子ピクス～	児童厚生員	1年の成長カードを渡し保護者の自己肯定感を高め今後のやる気を引き出す

講座・学級学習プログラム

講座名	さくらだいかラブ「しろい探検隊」(児童館共催)		
対象	小学3年生以上		
募集人数	8人	参加人数 12人	
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> 郷土愛を育む機会が少ない 体験学習の場が少ない 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分の住む市について興味を持ち、学習するきっかけ作りとする 様々な体験を通して、地域交流・異学年交流の場とする 		
学習期間	令和元年6月～ 令和元年12月	回数	3回
学習場所	館外・館内		
予算	総額： 28,000円 ※うち参加者負担金： 800円×12人 決算 内訳：講師料 円 その他事業費 28,000円	総額： 12,012円 ※うち参加者負担金： 500円×12人 300円×11人 内訳：講師料 5,012円 その他事業費 7,000円	
講師	プルーベリー農園 高橋 さん 地域の有志 中村 喜代子さん 手賀沼水環境保全協議会の皆さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> 野外活動や移動の際に、安全に留意し他の人に迷惑をかけないよう指導 挨拶するよう指導 時間厳守を徹底 		
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> 体験を通じ、自分の住む白井に興味や関心を引き出すことができた 異学年や地域の人と交流することができた 		
備考	7/7は雨のため中止 8/7はさくセンフェスタ中止のため、中止		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	6月9日	白井の農業を知ろう ～ブルーベリー狩り体験～ 参加人数 12人 自己負担金 500円	高橋さん	ブルーベリーとい植物 について学び、種類と味 の違いを知る
2	9月8日	白井のふるさと料理を作ろう ～ばらっばまんじゅう作り～ 参加人数 11人 自己負担金 300円	中村さん	郷土の味と作り方を地 域の方から学ぶ
3	12月8日	白井の自然を知ろう ～金山藩の桜並木クリーニング～ 参加人数 7人	地域団体	白井に浸入している特 定外来生物について知 り、その駆除を手伝う

講座・学級学習プログラム

講座名	学ぶ Kids シリーズ (児童館共催)	
対象	乳幼児 (&保護者) ～小学生	
募集人数	各回10人程度	参加人数 延べ 42人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験学習の機会が少ない ・興味を持つきっかけが少ないため将来のなりたいたい自分像が見えない 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業とは違う体験をする ・様々な体験をし、情操性を養う 	
学習期間	令和元年 7月～ 8月	回数 3回
学習場所	研修室・調理実習室	
予算	総額： 30,000円 ※うち参加者負担金： 500円×20人 内訳：講師料25,000円 その他事業費 5,000円	総額： 8,509円 ※うち参加者負担金： 500円×15人 内訳：講師料 5,012円 その他事業費 3,497円
講師	ワンコロの森 川添菜さん 生活協同組合コープみらい つくばエキスポセンター 加藤さん 萩原さん	
備考	参加者等への指導・援助方法 <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児が小さな部品を口に入れないよう注意する ・食べるものを作るため衛生に注意する ・私語を慎み先生の説明を聞き理解するよう促す 講座・学級開設の成果 (課題や目標に対して) <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか体験することの出来ない科学実験に大いに興味を持ったようであった ・集中して作業をすることができた 	

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	7月30日	作る楽しさを知ろう ～パーツを繋いでオリジナルワゴン ストラップを作ろう～ (単発) 募集 幼児親子～小学生 20人 参加人数 6組23人 (内、大人 6人) 自己負担金 500円	川添さん	木について学び自然を 大切にすることを養う
2	8月1日	作る楽しさを知ろう ～アイスクリームを作ろう～ (単発) 募集 小学生12人 参加人数 11人	生活協同 組合	アイスクリームのでき る工程を学び、食べ物に ついての興味を引き出 す
3	8月4日	科学っておもしろい ～真空実験～ (単発) 募集 小学生15人 参加人数 14人	加藤さん 萩原さん	真空について学び、実験 を通して科学に興味を 持つきっかけとする

講座・学級学習プログラム

講座名	さくセク子ども企画部 (児童館共催)	
対 象	市内在住小学4年生以上	
募集人数	10人	参加人数 14人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> 言われたことだけをやる子どもが増えている 自主的に行動する子どもが少ない 目標 <ul style="list-style-type: none"> 自ら考え、作り、形にする過程を楽しむ 異学年交流を深める 	
学習期間	令和2年 2月	回数 4回
学習場所	視聴覚室・研修室・	
予 算	総額： 10,000円 ※うち参加者負担金： 円× 人 決 算 内訳：講師料 円 その他事業費 10,000円	総額： 円 ※うち参加者負担金： 円× 人 内訳：講師料 円 その他事業費 円
講 師	参加者等への指導・援助方法 <ul style="list-style-type: none"> 個人に偏ることなく、全員が意見を言えるよう配慮した 各自が自分の役割を理解しつつ、協力し合うよう導いた 時間遵守を徹底させた 講座・学級開設の成果 (課題や目標に対して) <ul style="list-style-type: none"> 自分たちが考えたことを形にしたことで、それぞれの自己肯定感が高まったようだ せつかく作り上げたものを発表する機会を失ったが、気落ちすることなく、次回へと気持ちを繋げたようだった 	
備 考	3/7 さくセクフェスタ中止のため、当講座の5回目は中止	

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	2月8日	参加内容決定 ～どんなブースにするか考えよう～ 参加人数 11人	児童厚生員	個々のアイデアを出し合い、学年を越えて話し合いを行う
2	2月15日	ブース準備 ～ルールを決めよう & ポスター・看板製作～ 参加人数 10人	児童厚生員	ゲームの流れとブースに必要なものを考え、分担・協力し作業をすすめる
3	2月22日	参加人数 10人 ブース準備 ～係を決めよう～ 参加人数 人	児童厚生員	各自の仕事内容の把握と確認
4	2月29日	フェスタは中止だけれど... ～来年度に向けて～ 参加人数 14人	児童厚生員	来年度に向けて子ども達の意思を確認し、フェスタは中止になったが、達成感を味わう

講座・学級学習プログラム

講座名	学ぶ Kids 「さくセン合宿～ナイトウォーク～」 (桜台地区青少年相談員・児童館共催)	
対象	市内小学4年～6年 (リーダーとして中高生)	
募集人数	市内小学生20人程度	参加人数 小学生24人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜台地域は小中学校ともに各1校しかなく他校との交流がない ・子どもたちの困難経験が乏しい <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの自主性や協調性を伸ばし「生きる力」「あきらめない心」を育てる ・異学年、他校生と交流を図る ・地域全体で青少年を見守る地域力の向上を図る 	
学習期間	令和元年 7月	回数 1回
学習場所	研修室・調理実習室・視聴覚室・作法室・館外	
予 算	総額： 50,000円 ※うち参加者負担金： 小学生1,000円×20人 内訳：講師料 円 その他事業費50,000円 (内、青少年相談員負担金 25,000円)	総額： 44,343円 ※うち参加者負担金： 小学生1,000円×24人 内訳：講師料 円 その他事業費44,343円 (内、青少年相談員負担金 22,171円)
講 師	青少年相談員、地域ボランティアの皆さん、市環境課職員 センター職員	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・事故のないよう、事前準備を入念に行う ・完歩を目指すが無理をさせない ・子どもだけでなくボランティアの体調も十二分に注意する ・ボランティアが手を出し過ぎず、子ども達だけで協力し考え実行する ・全員に係を設け、責任感を養う 	
講座・学級開設の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・全員完歩したことで達成感を得ることができ、自己肯定感に繋がった ・地域ボランティアや企業の協力が増え、地域力が増した 	
備 考		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	7月27日 ～28日	<p>～さくセシ合宿～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結団式 ・栄養素群講座 ・メニュー決め・買い出し・調理 ・ナイトウオーク ・就寝 ・朝食調理 ・清掃 ・感想文と完歩証授与 ・解散式 <p>参加人数 小学生24人 自己負担金 1,000円</p> <p>参加人数 中学生 4人 自己負担金 500円</p> <p>* ジュニアリーダーになろう事業から参加</p> <p>地域ボランティア 16人</p>	<p>青少年相談員 地域ボランティア ティニア 市職員 センター職員</p>	<p>協力し合う力を養うとともにスケジュールに沿った行動ができ、公共の場での態度を养える</p>

講座・学級学習プログラム

講座名	力になりたい。そう言えるように、力をつけよう！ ～ジュニアリーダー体験～（児童館共催）		
対象	市内在学在住中学生		
募集人数	10人	参加人数	4人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら誰かのために動こうとする中高生が少ない ・ 誰かのために動こうと思ってもその機会や場がない ・ 将来的な地域活動に担い手がいらない <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら考え動く中高生を育成する ・ 将来の地域活動を担う中高生を育成する 		
学習期間	令和元年 7月	回数	1回
学習場所	視聴覚室・研修室・作法室・調理実習室・館外		
予算	<p>総額： 10,000円</p> <p>※うち参加者負担金： 円× 人 円</p> <p>内訳：講師料 円</p> <p>その他事業費 10,000円</p>	<p>総額： 0円</p> <p>※うち参加者負担金： 500円×4人 円</p> <p>内訳：講師料 円</p> <p>その他事業費 円</p>	
講師	センター職員		
参加者等への指導・援助方法	<p>・ 講座に参加する目的を各自が明確にできるようにサポートする</p> <p>・ 意見を言いやすい雰囲気作りをする</p> <p>・ さくセシ合宿での役割を再確認させる</p>		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<p>・ リーダーの役割を果たせた部分と果たせなかった部分があった</p> <p>・ 自分の都合を優先して就寝してしまった</p>		
備考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等 自己紹介・目標決めをしよう 参加人数 4人	講 師 センター 職員	学習のねらい 仲間を知ろう
2	7月27日	さくセン合宿に参加しよう 参加人数 4人 自己負担金 500円	センター 職員	リーダーとして小学生を サポートする
3	7月28日	反省会 参加人数 4人	センター 職員	各自の立てた目標に対し ての達成度を話し合い

講座・学級学習プログラム

講座名	白井散策倶楽部～白井の魅力発見～		
対 象	市内一般		
募集人数	10人	参加人数	8人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・白井のことを知らない市民が多い ・地域のことを語り継ぐ人が少ない 		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に白井をもっと知ってもらう ・地域住民や参加者同士の交流を図る 		
学習期間	令和元年 6月	回数	2回
学習場所	視聴覚室・館外		
予 算	総額： 10,000円 ※うち参加者負担金： 円× 人 決 算 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 5,000円	総額： 0円 ※うち参加者負担金： 円× 人 内訳：講師料 その他事業費	
講 師	市生涯学習課学芸員 戸谷教司さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に講師と打合せを密にし、資料を充実させる ・天候を考慮した下準備を行う ・事故や怪我などに注意し、こまめに水分補給を行うよう指導する 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・白井をもっと知りたいと言った知識欲を刺激できた ・楽しく歩き切ることができた ・郷土愛を育む一助となった 		
備 考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	6月6日	座学 ～白井の歴史と文化財を学ぶ～ 参加人数 6人	学芸員	白井の歴史を知り文化財を知ること、次回の散策をより学びの深いものとする
2	6月13日	散策 ～桜台周辺の文化財を歩く～ 参加人数 6人	学芸員	実際に歩き、歴史の跡を目にして改めて白井に愛着を感じる

講座・学級学習プログラム

講座名	桜台キッチン春 ～英語でクッキング～	
対象	市内一般	
募集人数	16人	参加人数 11人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を学びたいが敷居が高い ・ 英語を使う機会がない ・ 日本人は恥ずかしいと感じて英語でコミュニケーションをとることができない 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拙い英語力でもコミュニケーションをとるのが楽しくなる ・ 楽しくおいしく英語に対する苦手意識をなくす ・ 家庭料理のバリエーションを増やす 	
学習期間	令和元年 5月～ 6月	回数 2回
学習場所	調理実習室	
予 算	総額： 20,000円 ※うち参加者負担金： 2,400円×16人 内訳：講師料15,000円 その他事業費 5,000円	総額： 18,042円 ※うち参加者負担金： 2,400円×11人 内訳：講師料 18,042円 その他事業費
講 師	ワシロの森 大塚登さん	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者が固定のグループにならないよう配慮する ・ ホワイトボードを使用して発音とスペルがわかりやすいよう工夫する ・ 作業が個人に偏らないようサポートする ・ 食中毒や怪我に注意する 	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他国の家庭料理を学び、その手順や料理のルーツを学ぶことができた ・ 食事中も講師と英語でおしゃべりを楽しんだ ・ 調理という動作とリンクさせることで英語の理解を深めることができた 	
備 考		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	5月23日	～チキンフライドステーキ～ 参加人数 10人 自己負担金 1,200円	大塚さん	積極的に英語で会話をし、異国の家庭料理を学ぶ
2	6月20日	～サルサを使ったスナック料理～ 参加人数 11人 自己負担金 1,200円	大塚さん	調理とは別に英語のレッスンを多めにとり英会話に慣れるよう図る

講座・学級学習プログラム

講座名	桜台キッチン秋 ～英語でクッキング～		
対象	市内一般		
募集人数	16人	参加人数	5人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を学びたいが敷居が高い ・ 英語を使う機会がない ・ 日本人は恥ずかしいと感じて英語でコミュニケーションをとることができない <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拙い英語力でもコミュニケーションをとるのが楽しくなる ・ 楽しくおいしく英語に対する苦手意識をなくす ・ 家庭料理のバリエーションを増やす 		
学習期間	令和元年 10月～ 11月	回数	2回
学習場所	調理実習室		
予算	<p>総額： 20,000円</p> <p>※うち参加者負担金： 2,400円×16人 決算</p> <p>内訳：講師料15,000円</p> <p>その他事業費 5,000円</p>	<p>総額： 18,042円</p> <p>※うち参加者負担金： 2,400円×11人</p> <p>内訳：講師料 18,042円</p> <p>その他事業費</p>	
講師	ワシロの森 大塚登さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者が固定のグループにならないよう配慮する ・ ホワイトボードを使用して発音とスペルがわかりやすいよう工夫する ・ 作業が個人に偏らないようサポートする ・ 食中毒や怪我に注意する 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他国の家庭料理を学び、その手順や料理のルーツを学ぶことができた ・ 食事中も講師と参加者同士で英語でおしゃべりを楽しんだ ・ 調理という動作とリンクさせることで英語の理解を深めることができた 		
備考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	10月24日	～チリコンカン～ 参加人数 5人 自己負担金 1,200円	大塚さん	積極的に英語で会話をし、異国の家庭料理を学ぶ
2	11月21日	～シエバーズバイ～ 参加人数 5人 自己負担金 1,200円	大塚さん	調理とは別に英語のレッスン時間を多めにとり英会話に慣れるよう図る

講座・学級学習プログラム

講座名	男のオフタイム講座（市男女共同参画室共催）	
対象	一般男性	
募集人数	10人程度	参加人数 7人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の公民館利用が少ない ・ 働く男性がリタイヤ後に時間を持て余すことが多い ・ 働く男性は地域に知り合いが殆どいない <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しいことに挑戦し趣味や生きがいを見つけてもらう ・ 地域に知り合いを増やしてもらう 	
学習期間	令和元年 9月～ 10月	回数 2回
学習場所	視聴覚室・調理実習室	
予算	総額： 20,000円 ※うち参加者負担金： 円× 人 決 算 内訳：講師料 円 その他事業費 20,000円	総額： 0円 ※うち参加者負担金： 500円×6人 円 内訳：講師料 円 その他事業費 円
講師	カジオス代表 尾上元彦さん 金子雅予さん ヨガインストラクター	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性同士でおしゃべりをしないので和やかな雰囲気作りを心がける ・ 調理に慣れている人に作業が集中しないよう注意する ・ 食中毒や怪我に注意する ・ 普段身体を動かさない人が無理をしないよう注意する 	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回学んだメニューを家に帰って家族に教回作ったという報告があった ・ 調理の楽しさを感じた人が多かった ・ 身体を伸ばす気持ち良さに気づいたようだった ・ 男性同士の交流は難しいと感じた 	
備考		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	9月28日	調理 肉団子のバリエーションを学ぶ ～メニュー:肉団子入り野菜たっ ぷりスープ・大根と肉団子の煮 物・超即席漬け物～ 参加人数 6人 自己負担金 500円	尾上さん	協力して調理し、交流を 図る
2	10月5日	ヨガ 身体を伸ばそう 参加人数 7人	金子さん	リラックスした状態で 自分の身体と向き合い、 怪我等を予防する

講座・学級学習プログラム

講座名	リフレッシュ倶楽部		
対象	市内一般		
募集人数	10人程度	参加人数	8人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> 日々忙しく自分の身体を顧みることがない 運動する大切さはわかっていても実践できない人が多い スポーツクラブはお金がかかる 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> 身体を動かすことが楽しいと感じてもらおう 運動が苦手でも家に帰って自分で続けることができる 		
学習期間	令和元年 11月～ 12月	回数	3回
学習場所	視聴覚室		
予算	総額： 20,000円 ※うち参加者負担金： 円× 人	決算	総額： 15,036円 ※うち参加者負担金： 円× 人
講師	内訳：講師料 15,000円 その他事業費 5,000円	内訳：講師料 15,036円 その他事業費 0円	
講師	健康運動実践指導者 西山崇子さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> 参加者同士の交流を図るため自己紹介の時間を設ける この講座を受けてどうなりたいかを明確にするために各自目的を確認してもらう 連続講座の中で徐々に身体をならして今後続ける気持ちになるような流れをつくる 		
備 考	講座・学級開設の成果（課題や目標に対して） <ul style="list-style-type: none"> キツイ動作がなくても効果があらわれることに驚き続けたという人が多かった スポーツクラブに通わなくても運動はできると気づいた人が多かった 		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	11月6日	姿勢改善 参加人数 7人	西山さん	効果を感じながら自分の身体を整える
2	11月20日	スポーツボイストレーニング 参加人数 4人	西山さん	身体を動かしながら声を出す楽しさを感じてもらおう
3	12月4日	音楽ダンス 参加人数 6人	西山さん	1回目2回目の復習をしながら1曲をしあげ、自宅でも続けられるように指導する

講座・学級学習プログラム

講座名	大人の学び講座		
対象	一般		
募集人数	10～20人程度	参加人数	延べ 82人
講座・学級開設の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を狙う犯罪が増えている ・IT 端末機器を使いきなせないと時代に取り残される ・居住していても地域を知らない 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・犯罪から身を守る術を知る ・知ることを楽しむ ・知り合いを増やす 		
学習期間	令和元年 6月～	令和2年 1月	回数 5回
学習場所	視聴覚室・研修室		
予 算	総額： 40,000円 ※うち参加者負担金： 円× 人 内訳：講師料20,000円 その他事業費20,000円	決 算	総額： 0円 ※うち参加者負担金： 円× 人 内訳：講師料 円 その他事業費 円
講 師	ソフトバンク公認スマホアドバイザー 4人 消費生活相談員 佐藤さん 千葉県文書館 県史・古文書課 實方裕介さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の内容によって、会場の設営を変える ・実際にひとり一台のデモ機を使用して細やかなサポートを行う ・ひとりづつにわかりやすいレジュメを用意する ・レベル別に時間を分けて開催した 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホの機能を使って日常的に便利になることを体験することができた ・犯罪やトラブルの手口を知ることができた ・千葉県にある縁切り寺を通じて、日本の文化・歴史を知ることができた 		
備 考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	6月26日	シニア向け初心者スマホ講座 (単発) 募集人数 15人 参加人数 19人	スマホアドバイザー	シニアスマホを使いこなすことで、世の中の流れに取り残されないようにする
2	9月17日	消費者講座 ～あの手の手の悪質商法を知る～ (単発) 募集人数 10人 参加人数 4人	消費生活相談員	悪質な手口を知ること で犯罪から身を守る
3	11月14日	歴史講座～江戸の離婚と縁切寺～ (単発) 募集人数 20人 参加人数 21人	實方さん	歴史を知り、文化を知り、地域を知る
4	1月22日	シニア向けスマホ講座 ～初級編～ (単発) 募集人数 20人 参加人数 19人	スマホアドバイザー	スマホを安全安心に使う方法を学び、スマホのある生活を楽しむ

5	1月22日	シニア向けスマホ講座 ～応用編～ (単発) 募集人数 20人 参加人数 19人	スマホアドバイザー	初級はクリアしたが、さらにスマホを使いこなす操作法などを学ぶ
---	-------	--	-----------	--------------------------------

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	9月20日	白井の梨を使ったフルーツカービング～バターフライピーを飲みながら～ *フルーツカービングは基本飾りなので食べないが、本講座では初級のカービングを学んだ後、ピクルスにして各自持ち帰った (単発) 募集人数 8人 参加人数 6人 自己負担金 2,000円	吉原さん	潤いのある生活とするための一助とする
2	11月20日	クリスマス☆ストリングアート (単発) 募集人数 8人 参加人数 6人 自己負担金 1,500円	古俣さん	季節を飾るひとつの手法を学び作る喜びを感じる
3	12月6日	迎春 しめ縄飾りを作ろう (単発) 募集人数 10人 参加人数 11人 自己負担金 2,000円	佐々木さん	日本古来のしめ縄の由来を学び、正月を迎える準備をする

講座・学級学習プログラム

講座名	女のアフター7講座(市男女共同参画室共催)		
対象	女性		
募集人数	10人程度	参加人数	延べ 23人
講座・学級開設の課題と目標課題	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しい女性は日中の講座に参加し辛い ・自分のための時間を持ち辛い 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に知り合いを増やす ・自分の時間を楽しんでもらい、生活に潤いを感じてもらおう ・地域の公民館を知るきっかけとする 		
学習期間	令和元年 9月～12月	回数	3回
学習場所	研修室・調理実習室		
予算	総額 : 30,000円 ※うち参加者負担金 : 円×人 内訳 : 講師料 円 その他事業費 30,000円	総額 : 0円 ※うち参加者負担金 : ①:@ 2,000円×6人 ②:@ 1,500円×6人 ③:@ 2,000円×11人 内訳 : 講師料 円 その他事業費 円	決 算
講師	白井カービング協会会長 吉原美智子さん MiSHKeT 主宰 古俣美湖さん 花や花助 佐々木恵花さんとアシスタント3人		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・日中に参加し辛い人のために開催時間を考慮した ・仕事帰りに気軽に参加できるように、手ぶらで参加できるよう配慮した ・楽しい時間になるような雰囲気作りを行った 		
備 考	講座・学級開設の成果(課題や目標に対して) <ul style="list-style-type: none"> ・おしやべりを楽しみながら製作されていた ・初めて来館する人も多く、地域拠点としてセンターを知っていただけた 		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	7月7日	ロールからクラフトバンドを必要 な長さにカットし、バッグの形に 編む 参加人数 8人 自己負担金 1,200円	Rieさん	あたらしいことに挑戦 し、知識を得ることに貪 欲になる
2	7月14日	持ち手をつけレース飾りをつける 参加人数 9人	Rieさん	自分らしさの表現につ いて考え、作品を仕上げ ることで達成感を得る

講座・学級学習プログラム	
講座名	大人の手芸倶楽部～クラフトバンドで作るランチバッグ～
対象	市内一般
募集人数	10人
参加人数	9人
講座・学級開設の課題と目標	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 自分の楽しみを見つけれない人が増えている 趣味の話をする仲間が少ない人が多い
目標	<ul style="list-style-type: none"> 年代に関係なく趣味を同じくする人と仲良くなる 作品を最後まで作り上げること達成感を得る
学習期間	令和元年 7月
回数	2回
学習場所	研修室
予 算	総額： 10,000円 ※うち参加者負担金： 1,200円×10人 決 算 内訳：講師料10,000円 その他事業費 円 総額： 10,024円 ※うち参加者負担金： 1,200円×9人 内訳：講師料 10,024円 その他事業費 円
講 師	クラフトバンドエロロジ協会認定講師 Rieさん
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> 参加者同士が楽しくおしゃべりのできるような会場設営をする 長いバンドを使用するので自分だけではなく他者も怪我しないように注意する
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 持ち手をつける位置や飾りとするレース選びなどで自分らしい作品が完成した おしゃべりをしながら、楽しい時間を過ごすことができた 年代に関係なく知り合いを増やすことができた
備 考	

講座・学級学習プログラム

講座名	今日から実践！カンタンお掃除		
対象	市内一般		
募集人数	16人	参加人数	14人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年末に向けて大掃除が徳助である ・清潔にしているつもりでも汚れが気になる <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単ゆえに掃除への意欲を高める ・大掃除の負担を軽減する 		
学習期間	令和1年 12月	回数	1回
学習場所	調理実習室		
予算	総額： 10,000円 ※うち参加者負担金： 円× 人 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 円	総額： 9,000円 ※うち参加者負担金： 円× 人 内訳：講師料 9,000円 その他事業費 円	
講師	カジオス代表 尾上元彦さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除の基礎がわかりやすく解説された資料を用意する ・講師による実践を実際に見せながら理解を深めてもらう ・個人的な質問を受ける時間を設けた 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除が面倒だと感じるのはやみくもに磨くことを前提にしていたからだと気づいた ・場所、素材、経年による汚れの性質さえ理解すれば、掃除は簡単だと気づいた ・どこでも手に入る道具や洗剤で簡単に汚れが落ちると気づいた ・簡単に汚れが落ちると楽しくなって家で試してみたくなくなった人がほとんどだった 		
備考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	12月12日	座学 資料に沿って掃除の基礎を学ぶ 講師による実践 センター調理室のコンロ周りなどを 実際に掃除しているのを見て手順を学ぶ 参加人数 14人	尾上さん	簡単に手軽に掃除は出来るのだと学び、清潔な健康生活を手に入れる

講座・学級学習プログラム

講座名	なろう！桜台地域サポーター		
対象	桜台小中学校区在住の人		
募集人数	本年度は募集せず	参加人数	6人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活躍の機会や場が少ない ・地域を盛り上げようとすする人をまとめる場が少ない 		
学習期間	令和元年 5月～	令和2年 10月	回数 7回
学習場所	視聴覚室・研修室・		
予算	総額： 10,000円 ※うち参加者負担金： 円× 人 決 算 内訳：講師料 円 その他事業費 10,000円	総額： ※うち参加者負担金： 円× 人 内訳：講師料 円 その他事業費	円 円 円 円
講師			
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが自由に意見を言うことができ、それを否定されない会議づくり ・参加者の予定をあわせて開催する ・指導や誘導はせず合議のうえで活動する 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・桜台小、桜台中の合唱祭において、PTAが「さくらだいのうた」を披露した ・NPO法人谷田武西の原っぱと森の会の草刈りなどに協力することになった 		
備考	令和2年2月16日（日）原っぱの会の草刈りサポーターは雨天中止となった		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	5月14日	「さくらだいのうた」ギターコード付いた楽譜を配布 今年度の活動について話し合う 参加人数 4人		みんなのちからで地域活動を推進する
2	6月7日	「さくらだいのうた」テノール付楽譜を配布 桜台小の音楽祭にPTAと共に合唱することに決定 合唱練習 参加人数 6人		
3	6月14日	合唱練習 参加人数 6人		
4	6月18日	合唱練習 参加人数 6人		
5	6月22日	桜台小学合唱祭参加 参加人数 5人		
6	9月6日	地域イズム参加について話し合う 参加人数 3人		
7	10月26日	地域イズム2019に参加 参加人数 3人		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	9月18日	水彩で静物画を描く 参加人数 12人	原田さん	サークルの継続をサポートする

講座・学級学習プログラム			
講座名	手ぶらで参加～絵画サークル「アトリエF」体験講座～		
対象	市内一般		
募集人数	10人	参加人数	12人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サークルの会員が減少し、存続が難しい ・新会員を獲得しサークルの活動継続のサポートをする 		
学習期間	令和元年 9月	回数	1回
学習場所	研修室		
予 算	総額： 0円 ※うち参加者負担金： 円× 人	総額： 0円 ※うち参加者負担金： 円× 人	算
	内訳：講師料 円 その他事業費 円	内訳：講師料 円 その他事業費 円	
講 師	日本美術家連盟会員 原田文子さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル存続のためにセンターの講座として募集をかけた ・講座の運営に関してはサークルに任せしたが、応募者を多数獲得するために絵の具や筆等をサークルで用意し、手ぶらで参加できるようにアドバイスをした ・サークル会員が自ら参加者のサポートをするようにした 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・新規入会を数人獲得した ・サークルの存続が決定した 		
備 考			

事業活動

事業名	桜台センター利用者連絡会		
対象	桜台センター利用団体		
参加人数	15人		
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体同士の交流がない ・センターと利用団体との意見交換する機会が少ない ・公共施設を利用しているという意識が低い 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体相互の交流の場とする ・公共施設利用の意識を高める ・桜台センター自主事業の理解を求める 		
期間	令和元年	5月	回数 1回
場所	研修室		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・偏った団体の意見にならないように配慮する ・不参加の団体には報告書を作成し、配布する ・桜台センター登録でない団体にも、利用団体として参加してもらう 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・桜台センター自主事業開催時の理解と協力を得ることができた ・公共施設利用の意識が高まり、利用後の清掃の重要性を確認してもらえた ・団体相互のコミュニケーションの場となった 		
備考	委任状提出44団体		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	5月18日	定期総会 ～今年度会長・副会長選出 センター利用について さくセンフェスタについて～ 参加人数 15人	利用団体相互コミュニケーション の場を提供し、公共施設利用につ いて自ら考える場とする

事業活動

事業名	2019年度さくセンフエスタ実行委員会		
対象	2019年度さくセンフエスタ参加団体		
参加団体数	34団体		
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の発表の場がない 地域のランドマークとして周知する必要がある 異年齢の人たちが協力し運営する場がない 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体の参加を促す 団体が自主的に運営を手伝う 		
期間	令和元年5月	～	令和2年2月
場所	研修室・保健室		
回数	4回		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 偏った団体だけが運営に参加しないように配慮する プログラムに間違いが無いよう確認する 必要な備品が希望通りに行き渡るよう調整する 食品を扱う団体の腸内細菌検査を取り纏める 外用電源を増設する わかりやすい館内表示を作成する 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 多くの地域団体が参加する予定だった 係など自主的に手を挙げてくださった団体が多かった 係のお手伝いだけの参加も通常より多かった 		
備考	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためさくセンフエスタは中止		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	5月18日	2019年度さくセンフエスタ 第1回実行委員会 ～今年度実行委員長・副委員長選出 昨年度さくセンフエスタ報告 今年度さくセンフエスタ開催日時 の決定～ 参加人数 9人	利用団体相互理解を深め、地域振興を図り、地域拠点としての桜台センターを周知する
2	12月14日	2019年度さくセンフエスタ 第2回実行委員会 ～さくセンフエスタ第1回実行委 員会報告 各団体 場所・時間・備品調整 各団体 役割調整～ 参加人数 21人	
3	2月8日	2019年度さくセンフエスタ 第3回実行委員会 ～プログラム最終確認 役割最終確認 フィナーレ&ビンゴ大会について 事前準備と撤去について その他～ 参加人数 14人	
4	2月22日	2019年度さくセンフエスタ 臨時実行委員会 ～新型コロナウイルス感染症拡大防 止のためのフェスタ中止について ～ 参加人数 9人 (欠席団体には口頭での委任をも らう)	新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大している現状を危惧し、緊急で委員会としての意思決定を行う

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	10月26日	イベント内容 ・ 桜台小学校区住民のフリマ ・ 子ども向けブース ・ こいのぼりトンネル ・ 発表（演奏・ダンスなど） ・ キッチンカー （児童館・図書室は通常開館） 参加人数 150人	地域発信イベントを地域の力で開催する

事業活動	
事業名	地域イズム2019～フリマdeグッズ～
対象	一般
参加人数	150人
事業の課題と目標	事業の課題 ・ 地域でのちよっととした発表の場がない ・ 個人やグループで参加する機会がない ・ 地域が一体となるイベントがない 目標 ・ 地域住民の発表の場と機会を提供する ・ 地域コミュニケーションの場とする
期 間	令和元年 10月 回数 1回
場 所	公民館部分、センター出入口側駐車場
事業参加者等への配慮等	・ 昨年、開催時間が遅かったので、日中に開催する ・ 子どもや幼児と保護者の利用が多いというセンターの特質から、児童館は通常開館する ・ フリマでは、購入しやすい価格帯を設定してもらおう ・ フリマ参加者の搬入搬出がスムーズに行われるよう、時間を規制する
事業の成果（課題や目標に対して）	・ 桜台地域サポーターが活動としてボランティア参加があった ・ 桜台中学校の吹奏楽部が演奏発表を行った ・ 桜台小学校の有志が運動会で行った演技発表をした ・ 「さくらだいのうた」を合唱した ・ 同日、他で大きなマルシェが開催されており、イズムの来場者が少なかった ・ 次回開催に於いて、再度日程調整が必要
備 考	

事業活動

事業名	ティーサロン『ちよこつととタイム』『ほつとカフェ』		
対象	一般		
参加人数	延べ 人		
事業の課題と目標			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体参加者同士の交流が少ない ・地域住民のコミュニケーションの場が少ない 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でもくつろぎながら交流できる機会や場を提供する ・地域コミュニケーションを活性化する 		
期間	令和元年 5月 ～	令和2年 2月	回数 9回
場所	事務室前 市民ホール 中高生ルーム		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に飲食できる価格設定 ・乳幼児の保護者も子連れで参加できるような会場設営 ・交流の場を提供しているので、焼き菓子のお持ち帰りなどは遠慮してもらおう ・利用団体の活動の休憩時に購入された時には、部屋までお届けする 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動の休憩にほつとととできる時間ができて感謝されている ・普段であれば用事が済んだらすぐに帰る人たちが、ひとときついで、ゆつくりと掲示板などを確認している ・団体参加者同士や講師とのコミュニケーションの場となっている ・生演奏をしてくださるグループと繋がりができ、発表の場の提供にもなった 		
備考	新型コロナウイルス拡大防止のため3月は中止		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月18日	ほつとカフェ ～BGMを楽しみながらほつとといき（飲み物にクッキー付 販売）～ 参加人数 13人	くつろぎながら交流を深め、コミュニケーションの醸成を図る
2	5月14日	ちよこつとタイム ～お茶しながらコミュニケーション（パウンドケーキ・飲み物 販売）～ 参加人数 54人	
3	6月4日	ほつとカフェ ～BGMを楽しみながらほつとといき（飲み物にクッキー付 販売）～ 参加人数 20人	
4	7月17日	ちよこつとタイム ～お茶しながらコミュニケーション（パウンドケーキ・飲み物 販売）～ 参加人数 54人	
5	9月19日	ちよこつとタイム ～お茶しながらコミュニケーション（パウンドケーキ・飲み物 販売）～ 参加人数 50人	
6	10月17日	ほつとカフェ ～BGMを楽しみながらほつとといき（飲み物にクッキー付 販売）～ ★生演奏あり	

		参加人数 17人	
7	11月12日	ちよこつとテイタータイム ～お茶しながらコミュニケーション ～ (パウンドケーキ・飲み物 販売)	
8	12月11日	参加人数 55人 ほっとカフェ ～BGMを楽しみながらほっとひ とき (飲み物にクッキー付 販 売)～	
9	1月9日	参加人数 30人 ちよこつとテイタータイム ～お茶しながらコミュニケーション ～ (パウンドケーキ・飲み物 販売)	
10	2月14日	参加人数 60人 ほっとカフェ ～BGMを楽しみながらほっとひ とき (飲み物にクッキー付 販 売)～	

事業活動

事業名	若者の居場所づくり もっとほっとルーム (児童館共催)		
対象	市内在住中学生以上18歳未満の子		
参加人数	10人		
事業の課題と目標	課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貧富の差があり、塾に通うことのできない子がいる ・ 悩みを誰にも相談できない子がいる ・ 自宅以外に (もしかしたら自宅にも) 逃げ場のない子がいる 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習面で支援を行う ・ 悩みを抱える子が気軽に集える場を提供する ・ 精神面を支える 		
期間	平成31年4月～令和2年2月	回数	43回
場所	中高生ルーム		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教えるのではなく自主学習の支援を行う ・ 勉強への誘導はせず、居場所として徹する ・ 学習支援者を配置する ・ 悩みを打ち明けやすいような雰囲気づくり ・ 児童館の開館時間を延長して行うので、保護者の承認を必須とした入館証を作成する 		
事業の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度が変わった当初は利用していたが、クラブ活動が始まり夏時間になると利用がなくなつた ・ 地域の中に問題を抱えた子がいるのは確かだが、参加には至らなかつた ・ 年度によって利用にバラつきがあるが、今年度は特に利用が少なかつた 		
備考	保護者の承認が必須の年間登録制		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月～2月	<p>第1～4金曜17時から19時 (祝日、年末年始などを除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の場 ・友人とおしゃべりの場 ・先生や保護者とは違う大人に話を聞いてもらう など <p>中学教科書レベルの学習のアドバイスを受けることができる</p> <p>第1週目 数学 第2週目 英語 第3週目 国語 第4週目 見守り</p> <p>卓球や漫画本を備える</p>	<p>思春期の子ども達も達が、商業施設で時間つぶしをせず、家以外の居場所としてセンターを利用するよう図る</p>

事業活動

事業名	白井フェミニナスペース+ ～わたしの夢の叶え方～		
対象	一般		
参加人数	317人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画を知ってもらうイベントがない ・女性のキャリア教育が必要である ・様々な働き方を知る機会が少ない <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20代から40代の女性をメインに多様な生き方を考える機会と場を提供する ・女性起業家を応援し、ネットワークを構築する 		
期 間	令和元年	11月	回数 1回
場 所	青少年女性センター		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出展と講演の部屋を別にし、それぞれを目的とした来場者の満足度を高める ・ 出展者同士の交流の場を提供する ・ SNS 配信を増やし、期待度を高める ・ 青少年女性センターの女性の企業講座卒業生などに周知して、発表の場とする 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出展者同士の交流が図れた ・ 実行委員が地域参加をする一助となった ・ 来場者、参加者が年々減少しているが、このままのカタチでいいのか再考する 		
備 考	青少年女性センター主催事業に協力		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	11月9日	2019白井フェミナス♥+開催 ～女性起業家によるワークショップ 男女共同参画の視点に立った講演 会～	イベントで一般の、開催までの企 画運営で実行委員の、女性たちの キャリア教育を図る
2	5月～11月	参加人数 317人 2019白井フェミナス♥+実行委員会 出展者説明会 出展者交流会 企画運営会議 反省会 参加人数 8人	

事業活動

事業名	リアル防災訓練 in 桜台 (共催)
対象	桜台センター小中学校学区住民
参加人数	114人
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会で防災の事業は行われているが「一緒に」行うことがない 将来の防災活動の担い手がいない 震災から時間が経ち防災意識が薄れている 目標 <ul style="list-style-type: none"> 自治会の参加を増やす 防災意識の向上を図る
期 間	令和元年 9月
場 所	桜台小学校体育館
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 避難所体験で宿泊もあるため看護チームを配備 参加者が偏ること無く体験できるよう時間を設けてローテーションを組む 災害についてより詳しい防災士を招く 起震車を呼び、体験してもらおう こまめに休憩を挟み、参加者の体調に留意する 各自治会に周知する
事業の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> 昨年より自治会の参加が増えた アンケートから、子ども参加者はお楽しみイベントとして感じている子が多い
備 考	共催：防災リアル訓練 in 桜台実行委員会、桜台中学校 PTA 連絡協議会、桜台防犯連 絡会、桜台3丁目自治会、桜台6番街団地防災会、十余一区、桜苑巷番街自治会、桜 苑式番街自治会、コープシティ桜台自治会、桜台センター 後援：白井市、白井市教育委員会 協力：印西西消防署 市民活動支援補助金活用

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	9月21日～ 22日	防災リアル訓練 in 桜台 開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災井戸、防災倉庫見学 ・ AED 訓練 ・ 起震車体験 ・ 避難所運営ゲーム体験 ・ 避難所宿泊体験 ・ 非常用食料アルファ米の食体験 参加人数 114人	地域の防災意識を高め、有事の際に協力しあえる体制づくりを図る
2	2月～10月	実行委員会 事前説明会 反省会 参加人数 20人	